

発明の名称:睡眠姿勢分析装置

利用・用途・応用分野

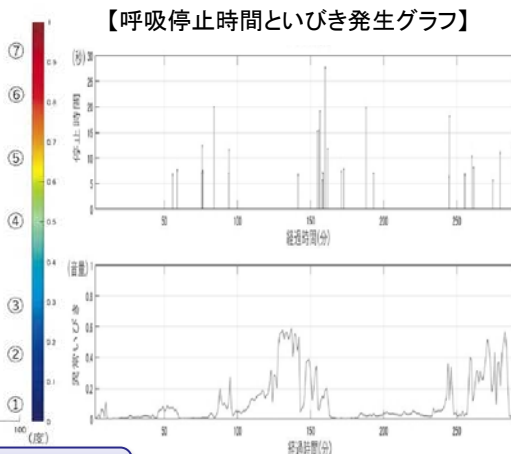
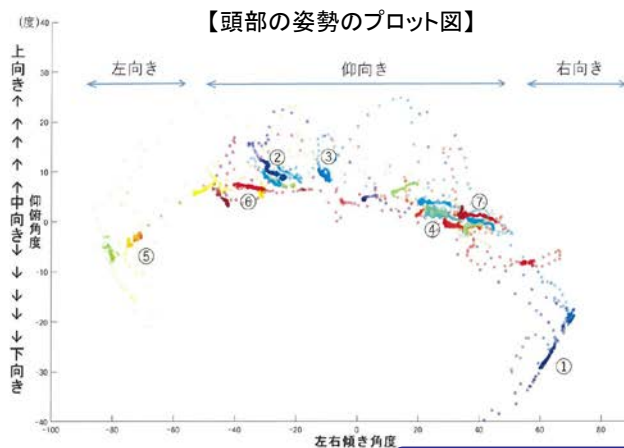
健康・ライフサポート 睡眠時の呼吸・寝姿勢の解析、無呼吸症候群や肩こりの緩和

目的・課題

店で調整された枕は自宅で使用する場合、環境や条件等によって合わず数日使用後に使用しなくなる場合が多い。実際の睡眠時の姿勢を計測し分析データに基づき枕を調整する事例が見当たらないため、睡眠時の頭部の上下左右の動きを検知し、被検者の頭部や体の複合的な動きを把握し易くすること、及び睡眠時の呼吸状態や体温を検知して時系列に各状態を表示し、頭部や体の複合的な動きと、無呼吸状態や肩こり発生との関係を特定し易くすることを目的とする。

解決ポイント

- ◆横軸を左右傾き角度、縦軸を仰俯角度とした平面上に、時間帯別に異なる色で被検者の頭部の左右傾き角度と仰俯角度をプロットすることにより、時間の経過と頭部の上下左右の向きを直感的に把握し易い態様により表示する。
- ◆横軸を時間、縦軸を被検者の呼吸が停止した時間としたグラフや横軸を時間、縦軸をいびき発生の有無としたグラフを表示する。



研究概要・アピールポイント

- ◆睡眠時の頭部の上下左右の向きを容易に把握できるようにするための睡眠姿勢分析装置
- ◆終夜の頭の姿勢データから枕の調整指針を提示することで、身体のラインのみでなく一人ひとりの使用環境に合った枕の調整が可能となる。
- ◆寝息呼吸を同時に計測しているため、寝姿勢によるいびきや無呼吸の発生分析データから枕を調整することで、いびきや無呼吸を緩和できる。

山口TLOは共同研究を希望する企業と大学との共同研究契約締結に必要な各種支援も行います。企業と実施権設定契約、有償譲渡契約、オプション契約(当該技術に係るノウハウ等の秘密情報の開示と共に選択権を約定するもの)など、パートナー企業が希望する契約種別に応じて、相談・支援及び契約締結を行います。お気軽にお問合せ下さい。